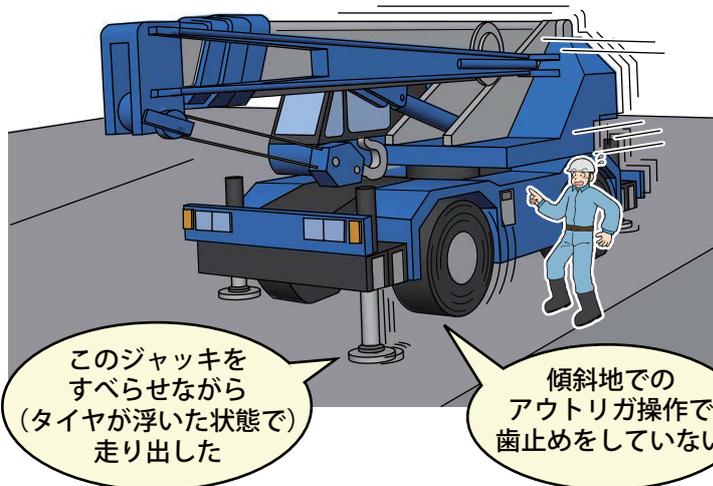


事故事例

下り坂でジャッキ格納中、クレーンが走り出し、乗用車に衝突した

事故発生状況

約5°の下り坂にラフテーククレーンを駐車し、運転室外にあるアウトリガ操作ボックスでジャッキを張り出してタイヤを交換した。タイヤ交換後、ジャッキを格納中にクレーンが走り出し、停車していた乗用車に衝突、乗っていた人が負傷した。



原因

- 傾斜地で、運転室外からのアウトリガ操作で、タイヤの坂下側に歯止めをしていなかった。
- ジャッキ格納時に前輪の片方が浮き、パーキングブレーキがきかなくなった。

対策

傾斜地で、運転室外にあるアウトリガ操作ボックスを使用してアウトリガを張り出すときは、タイヤの坂下側に歯止めをしてください。

より安全にアウトリガを操作するために、操作前にパーキングブレーキスイッチを「AUX」（作業用補助制動装置が作動）にしてください。

☞ ● パーキングブレーキは、前輪とトランスミッション間のプロペラシャフトを固定します。

- 前輪の左右が接地していれば、パーキングブレーキだけで停車状態になります。
- 前輪の片方が浮いた状態では、パーキングブレーキをきかせても、片方のタイヤが空転して車両が動き出すことがあります。
- 作業用補助制動装置は4つのタイヤを固定するため、タイヤが空転することはありません。

アウトリガ操作後は、パーキングブレーキスイッチを「PARK」にしてください。

